2023 年 D1Grand Prix
Rd.7&8 AUTOPOLIS
参戦報告書

SHIBATA
RACING TEAM

採点資料

D1 独自の機会採点システム DOSS が採点の基準

発足初年度から審判員による主観採点を採用してきた D1 グランプリシリーズだったが、より公平で公正な採点方法を求めて機械採点システムの開発を進めていた。
そして長い開発期間と試験期間を経て 2013 年からシリーズ戦へと導入されたのが、D1 独自の機械採点システムである『D1 オリジナルスコアリングシステム (通称 :DOSS= ドス』だ。
DOSS では、走行マシンの車速や角度、そして角度の安定性や振り返しの鋭さなどを数値化して得点化。わずかな車速変化や角度の乱れが特典に影響することもあり、これまでよりも繊細かつスムーズなドライビングが要求されるようになった。そして、DOSS の得点化プログラムは最適化されつつ年々進化していき、2019 年からは追走にも導入されることとなった。
先行車は単走とおなじようにハイレベルな走りが要求され、後追いもただ接近すればいいだけではなく、DOSS の得点が出せる走りが要求される。追走でも DOSS が導入され、ここがさらに洗練されていくことで、D1 グランプリシリーズは新たなステージへと進化する。

単走　指定ゾーンの追加で視覚的に走りの良し悪しが判別可能に

単走での採点は、競技区間を振り出しや旋回、振替しといった 4~5 つのセクターに分割し、それぞれの重要度によって第 1 セクターは 30%、第 2 セクターは 20% というようには配分が決定され、すべてのセクターの合計が特典となる。
また、2018 年からはコース内であればどのようなラインを通過しても原点されることはなかったが、2019 年からはコース上に数ヵ所の指定ゾーンが設けられ、ここを通過しなければいけなくなった。
つまり、理想的なラインを通過することが高得点を出すことにつながるのはこれまで通りなものの、指定ゾーンを追加することで視覚的にも良し悪しがわかりやすくなった。なお、指定ゾーンを通過できなかった場合の原点はマイナス 1 点 ~3 点。
ほかにも、振り出し時の 2 度降りやドリフトアンダーはマイナス 5 点、コース外走行は 1 輪〜 2 輪の場合はマイナス 2 点で、3 輪〜 4 輪の場合はマイナス 5 点という原点。J1 〜 J3 区間での円滑さを欠く走行やコース上の設置物への接触なども減点の対象となる。選手たちにとってはこれまで以上に繊細なマシンコントロールが要求されるようになった。

DOSS の導入で後追いはよりレベルの高い走りが求められる

追走では、単走とおなじく車速や角度に安定度といった要素が求められる先行車に対し、後追い車はどれだけ合わせつつ接近できるかが求められる。
単走とおなじ要素が評価項目となるため、これまでも先行車両には DOSS で算出された得点がベースとなっていたが、2019 年シリーズからは後追いにも DOSS の得点がベースとして採用され、これに接近度といった項目を審判員が主観で判断した得点を合計し、それが後追い車の総合得点となる方式となった。
後追い車は、車速や角度に安定度といった要素を揃えつつ接近しなければいけないということは変わらないものの、DOSS が採用されたことによってその基準がよりシビアに。角度のないまま接近すると、接近ポイントは与えられるものの、DOSS 得点が低くなって勝てないし、DOSS 得点を狙って相手から離れて自分のドリフトをしても、接近加点が取れないので勝てない、となる仕組みだ。
後追い車の接近ポイント (コースにより 6〜12 点) は、先行車との距離に応じてセクターごとに付与される。また、後追い車が先行車から離されすぎて接近ポイントがまったく得られなかった場合はノーグッドチャレンジ (先行者に接近できていない状態) と判断されることがあり、その減点はマイナス 2 点となるため、つねに攻めることも要求されるようになったのだ。

参戦車両

車両：INFINITI Q60
エンジン : VR38 4100cc 1000hp
タービン : HKS GT2
コンピューター : LINK
ミッション : ALBINS
タイヤ：SHIBATIRE REVIMAX R23 255/35R19(Front)
　　SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR20(Rear)
ホイール：SHIBAHWEEL 19 インチ off +25(Front)
　　SHIBAHWEEL 20 インチ off +12(Rear)
エアロ : SHIBATA
足回り : 車高調 JIC　ナックル WISEFAB
　　キャリパー ENDLESS

ドライバー

蕎麦切広大

1996 年 3 月 22 日生 (27 歳)
神奈川県出身
身長：165cm
参戦レース : D1GP、Formula Drift Japan

2023 年 D1GP (Rd.7&8 終了時点)
ドライバーズランキング　2 位
単走シリーズランキング　1 位

実績

2018 年 9 月 ドリフトキングダム Rd.6 チャレンジエキスパートクラス　準優勝　　D1LIGHTS 出場権獲得
2019 年 3 月 MSC チャレンジ Rd.2 エキスパートクラス　優勝　　FORMULA DRIFT JAPAN 出場権獲得
2019 年 D1LIGHTS　年間ランキング 13 位　D1GP 出場権獲得
2020 年 D1GP ドライバーズランキング 18 位　単走シリーズランキング 13 位　シリーズ新人賞受賞
2021 年 D1GP ドライバーズランキング 14 位　単走シリーズランキング 9 位　　第 7 戦 単走優勝
2022 年 D1GP ドライバーズランキング 7 位　単走シリーズランキング 2 位

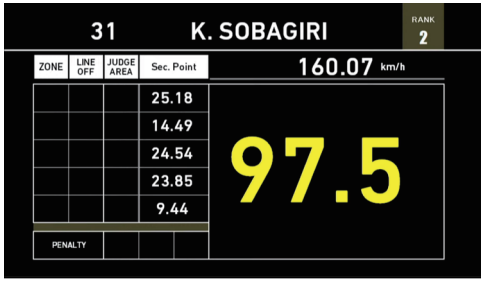
No.31　蕎麦切広大

Rd.7　10/28(土)　天候　晴

昨年感触が良かったオートポリスラウンドという事で練習走行から去年の感触を思い出しながらの走行となります。またクリップポイントや DOSS の配点も昨年とは変更もありましたのでその違いを確認しながら練習しました。その結果、今年求められる走らせ方を DOSS の点数を見ながら研究する事ができました。

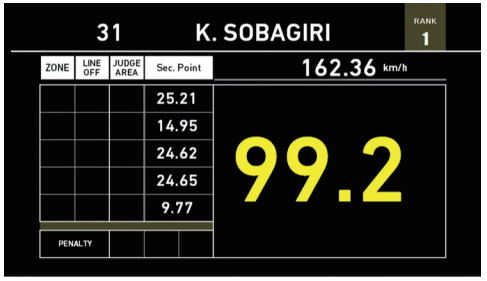
単走 1 本目

いつもより肩に力が入ってしまい点数をそこまで伸ばす事が出来ませんでした。



単走 2 本目

1 本目よりも落ち着いて走る事ができ 99.2 点と点数を伸ばす事が出来ました。
よって予選順位は 2 番手となります。



追走 Best 16 先行 対戦相手　畑中夢斗選手

まず先行はミスなく走り切る事が出来ました。それに対して畑中選手はコースアウトしていましたので大きくアドバンテージを取る事が出来ました。

追走 Best 16 後追い 対戦相手　畑中夢斗選手

後追いポジションでは後追いの感覚を掴みながら距離感を合わせてミスなく走り切る事が出来ましたので勝利する事が出来ました。

追走 Best 8 先行 対戦相手　秋葉瑠世選手

まずミスをしない走りをする事が出来ました。それに対して後追いは近い距離で走る事が出来ずにアドバンテージを取る事が出来ました。

追走 Best 8 後追い対戦相手　秋葉瑠世選手

しっかりと後追いポイントを取りに行く走りをしようと思いましたが、思ったような進入ができず少し離されてしまいましたが秋葉選手もコースアウト減点もあり勝利する事が出来ました。

No.31　蕎麦切広大

Rd.7　10/28(土)　天候　晴

追走 Best 4 先行 対戦相手　末永正雄選手

先行はミスのない走りをする事が出来ました。対する末永選手は少し近い距離を走ってアドバンテージは末永選手となりました。

追走 Best 4 後追い対戦相手　末永正雄選手

この時 BEST16 からの戦いで少し予定と違った後追いになってたのでそれらの走りから修正してビタビタな追走をする組み立てをしていきました。その結果やり過ぎてしまい 1 コーナーでクラッシュしてしまいました。よって Best4 敗退となりました。

得意意識のあったオートポリスでしたが BEST4 の対戦での僕のミスでマシンをクラッシュしてしまいました。
とても悔しい気持ちでいっぱいでしたが限界領域でのマシンの動き方などの改善点も見つかりましたので翌日に向けて同じミスを繰り返さない為にマシンのセッティングとマシンの修理をチームの皆様にして頂きました。本当にありがとうございました。
とても申し訳ない気持ちでいっぱいですがこの失敗を糧に翌日の Rd8 ではさらに攻めた走りをしようという気持ちでした。

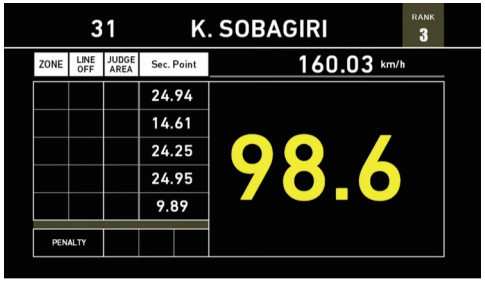
No.31　蕎麦切広大

Rd.8　10/29(日)　天候　晴

まず前日の Rd7 でクラッシュしてしまいましたがチームの皆様による懸命な修復作業のお陰で完全な状態に修理して頂きました。本当にありがとうございます！そして練習走行では前日のクラッシュによる影響が出ているのかどうかと前日のセッティング変更の感触を確かめながらの走行となりましたが影響も全くなく、セッティング変更も良い方向にいきましたので自信を持って予選に挑みます。

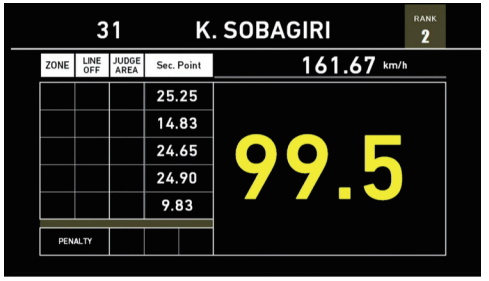
単走 1 本目

まず予選は確実に通過できる点数を出す事が出来ました。
よって 2 本目は単走優勝を狙って走ります。



単走 2 本目

走り的には点数を確実に伸ばす事ができる走りをする事が出来ましたが予選順位は 3 位通過となりました。



追走 Best 16 先行 対戦相手　畑中夢斗選手

まず先行はミスなく走る事が出来ました。
対して畑中選手はマシントラブルが発生してしまい 1 本の走行で勝利する事が出来ました。

追走 Best 8 先行 対戦相手　横井昌志選手

先行ではミスなく走る事ができました。対して横井選手もビッタビタで後追いを走られてほぼフルマーク取られ、アドバンテージも大きく横井選手となりました。ですがそれ以上の追走をすれば勝てるという自信があったので落ち着いて 2 本目に挑みます

追走 Best 8 後追い対戦相手　横井昌志選手

前日のミスによるクラッシュなどありましたがそこで学んだことを活かす事ができ思い描いてる追走に近い走りができました。
その結果フルマークを獲得し、DOSS の点数の差もあり横井選手に初めて勝利する事ができました。

No.31　蕎麦切広大

Rd.7　10/28(土)　天候　晴

追走 Best 4 後追い 対戦相手　秋葉瑠世選手

まずしっかりビタビタの追走をしようと思い走りましたがスタートのタイミングを外してしまいストレートでホイールスピンしてしまった為ストレートで離されて後追いポイントを取る事が出来ませんでした。

追走 Best 4 先行対戦相手　秋葉瑠世選手

先行はミスなく走り切れましたが対する秋葉選手が素晴らしい後追いをされて敗退する事なってしまいました。

総合結果は 3 位でした。

今回のラウンドでは結果的に非常に悔しい形で敗退する事になりましたがずっと歯が立たなかった横井選手に初勝利する事が出来たのは自分自身にとっても自信に繋がる一戦でした。
また次の秋葉選手との対戦でも非常に悔しい内容の勝負となってしまいましたが、この戦いからも沢山のことを学ばさせて頂く事ができました。
rd.7 では大きなクラッシュ等ありましたがチームの皆様の懸命な修復作業のお陰様で両日トラブル等なく走り切れた事に非常に感謝の気持ちでいっぱいですし沢山のファンの皆様の応援がとても大きな力となって一緒に走れました。
改めて皆様と共に TEAM SHIBATA で走らさせて頂けて幸せ者だなと思いました。
遂に次戦は最終戦お台場ラウンドとなります。年間ランキングも 2 位という位置にいまして 1 位との差は 3 ポイントです。しっかり最終戦のお台場は応援してくださる皆様に感動を届けられる走りをしてシリーズチャンピオンを目指してチーム一丸となり全力で戦います。応援して頂きありがとうございました。

参戦車両

車両：GR86
エンジン : 2JZ 3400cc 940hp
タービン : HKS GT2
コンピューター : LINK
ミッション : ALBINS
タイヤ：SHIBATIRE REVIMAX R23 265/35R18(Front)
　　SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR19(Rear)
ホイール：SHIBAHWEEL 18 インチ off +25(Front)
　　SHIBAHWEEL 19 インチ off +12(Rear)
エアロ : SHIBATA
足回り : 車高調 JIC　ナックル WISEFAB
　　キャリパー ENDLESS

ドライバー

日比野哲也

1974 年 4 月 10 日生 (49 歳)
愛知県出身
身長：181cm
参戦レース : D1GP、Formula Drift Japan

2023 年 D1GP (Rd.7&8 終了時点)
ドライバーズランキング　6 位
単走シリーズランキング　8 位

実績

2018 年 D1CHINA 単走シリーズチャンピオン　追走シリーズチャンピオン
2019 年 DCGP(中国) 単走シリーズチャンピオン　追走シリーズ 2 位
　　RDS GP(ロシア) 総合シリーズ 3 位
2020 年 D1GP ドライバーズランキング 4 位　単走シリーズランキング 5 位
2021 年 Formula Drift Japan シリーズランキング 3 位

No.18　日比野哲也

Rd.7　10/27(金)　天候　晴

前日練習日

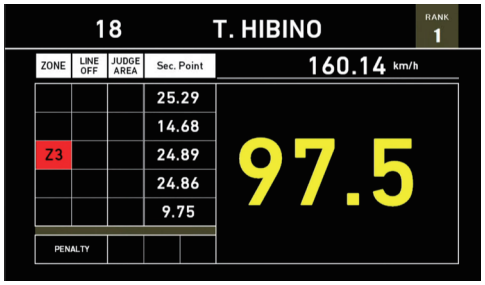
12 周の練習ができました。
進入に合わせたファイナルギアの変更と、パワーに対してのエア圧の調整をしました。
練習では 99 点台が出せる走りもありました。

Rd.7　10/28(土)　天候　晴

朝のチェック走行では 98 点台が出てたので、普通に走れば予選通過は確実でした。
順番が単走 A-1 で、この日の一番手でした。

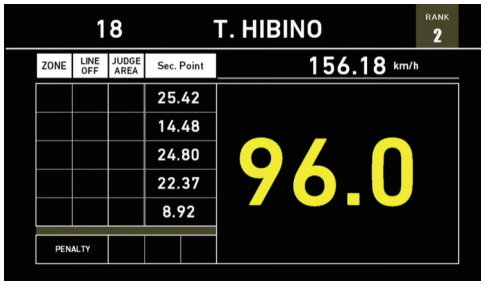
単走 1 本目

ラインが小さくなり、99.4 マイナス 2 で 97.4 ！



単走 2 本目

二本目では失敗してしまいました。
結果 16 位で通過。



追走　Best 16　対戦相手　中村直樹選手

一本目の後追いでフロントタイヤがグリップせず、大戻りで大きなアドバンテージ取られました。先行では良い走りをしましたが、ベスト 16 で敗退でした。
単走 16 位
総合 16 位
シリーズ 9 位

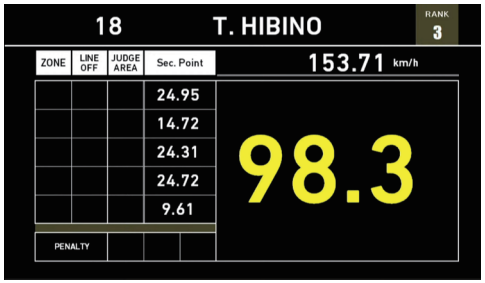
No.18　日比野哲也

Rd.8　10/29(日)　天候　晴

前日のフロントタイヤのグリップが低い事を忘れずに、温めを意識して練習しました。
練習では 98 点台が出てますので、本番では失敗しない様に気を付けます。

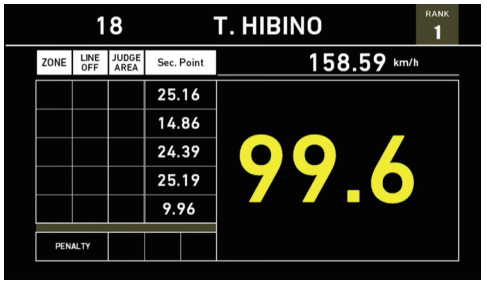
単走 1 本目

ミスしない走りで、98.3 を出しました。(予選通過確定)



単走 2 本目

99 点を目指して攻めて、99.6 でトップの点数!!結果 2 位で通過。



追走　Best 16　対戦相手　下田紗弥加選手

先行では 4 ポイントアドバンテージ取りました。
後追いでは、スピードを合わせれず大戻りで失敗してしまいました。
単走 2 位
総合 9 位
シリーズ 6 位

10 月になって気温が低くなってきたので、タイヤの熱が入りにくくなってきたと思うので気を付けます。
単走のギア比と追走のギア比を変更した方が良いと思うので気を付けます。
次戦は、お台場の最終戦になります。
SIBATIRE RACING がチーム優勝する事と、蕎麦切選手がシリーズチャンピオンを獲る事をサポートしたいと思います。

2023年D1グランプリシリーズランキング

2023年ドライバーズランキング

Rank.	No.	Driver	Team	Car
1	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-style	GR86
2	31	蕎麦切 広大	SHIBATIRE RACING	Q60
3	2	田中 省己	SHIBATIRE RACING SEIMI STYLE D	SILVIA
4	77	松山 北斗	+LenoRacing watanabe	GR SUPR
5	66	藤野 秀之	TEAM TOYO TIRES DRIFT	GR86
6	18	日比野 哲也	SHIBATIRE RACING	GR86
7	70	横井 昌志	D-MAX RACING TEAM	SILVIA
8	46	末永 正雄	D-MAX RACING TEAM	SILVIA
9	98	ヴィトー 博貴	DRIFT STAR Racing × RACING GEAR	SILVIA
10	15	植尾 勝浩	VALINO VAZESTRA	SILVIA
11	88	川畑 真人	TEAM TOYO TIRES DRIFT	GR86
12	11	村上 満	Repair Create × 326power	GR86

2023年単走シリーズランキング

Rank.	No.	Driver	Team	Car	Model
1	31	蕎麦切 広大	SHIBATIRE RACING	Q60	Q60
2	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-style	GR86	ZN8
3	2	田中 省己	SHIBATIRE RACING SEIMI STYLE D	SILVIA	S15
4	77	松山 北斗	+LenoRacing watanabe	GR SUPRA	A90
5	66	藤野 秀之	TEAM TOYO TIRES DRIFT	GR86	ZN8
6	98	ヴィトー 博貴	DRIFT STAR Racing × RACING GEAR	SILVIA	PS13
7	46	末永 正雄	D-MAX RACING TEAM	SILVIA	S15
8	18	日比野 哲也	SHIBATIRE RACING	GR86	ZN8
9	70	横井 昌志	D-MAX RACING TEAM	SILVIA	S15
10	88	川畑 真人	TEAM TOYO TIRES DRIFT	GR86	ZN8
11	11	村上 満	Repair Create × 326power	GR86	ZN8
12	45	Chanatpon Kerdpiam	GOODRIDE × NEXZTER	SILVIA	S15
13	15	植尾 勝浩	VALINO VAZESTRA	SILVIA	S15

2023年チームシリーズランキング

Rank.	Team	RD.1	RD.2	RD.3	RD.4	RD.5	RD.6	RD.7	RD.8	RD.9
1	D-MAX RACING TEAM	26	13	3	3	3	6	26	6	
2	TEAM TOYO TIRES DRIFT	6	2	6	6	26	26	6	6	
3	SHIBATIRE RACING		10	3	26	6	10	10	15	
4	TEAM VALINO × N-style	6		0	3	10	15	15	26	
5	+LenoRacing watanabe	15	3	20	3	6	20	6		
6	SHIBATIRE RACING SEIMI STYLE D	6	2	6	6	15	6	20		
7	VALINO VAZESTRA		3	26	10			6	3	
8	DRIFT STAR Racing × RACING GEAR	10	3	6	3		3	3	6	
9	Repair Create × 326power	3	2			20	3	3		
10	Z CHALLENGER × BOOSTAR							6	20	
11	TMS Racing Team G-meister	3		10		3	3	3	3	
12	RS Watanabe SPEED MASTER	6	2	3		6	3		3	
13	FAT FIVE RACING	3	2			3	3		10	
14	GOODRIDE × NEXZTER	3	2	3	6	3				
15	HIRANO TIRE ★ VALINO RACING	3		6	3		3			

D1 事務局　イベント報告

正式呼称：2023 GRANTURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Round7&8 AUTOPOLIS

開催場所：大分県・オートポリス 国際レーシングコース

主 催：株式会社サンプロス

競技方式：ドリフト競技

公 認：日本自動車連盟（JAF）

参加者数：D1GP 37台

天 候：28日；ドライ 29 日；ドライ/ウェット

延動員数：合計 5,113名（3 日間合計、関係者含む）

次戦；11月11（土）、12 日（日）東京都、お台場 NOP 特設会場（最終戦）